

国家試験

情報処理技術者試験のご案内

Information Technology Engineers Examination

さらに詳しくは、情報処理技術者試験センターホームページ、
または下記までお問い合わせください。

ホームページ <http://www.jitec.ipa.go.jp/>
携帯ホームページ <http://www.jitec.ipa.go.jp/k/>



| | | |
|-------|---|-----------------------------------|
| 本部 | 〒113-8663 文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコートセンターオフィス15階 | TEL.03-5978-7600 FAX.03-5978-7610 |
| 北海道支部 | 〒060-0001 札幌市中央区北1条西4丁目2-12 北一条アネックスビル5階 | TEL.011-231-5753 FAX.011-231-6685 |
| 東北支部 | 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル505号 | TEL.022-227-0901 FAX.022-224-2339 |
| 関東支部 | 〒113-8663 文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコートセンターオフィス15階 | TEL.03-5978-8300 FAX.03-5978-8301 |
| 中部支部 | 〒460-0008 名古屋市中区栄5-26-39 タカシマ名古屋ビル8階 | TEL.052-261-6818 FAX.052-261-1905 |
| 近畿支部 | 〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町2-6 天満橋八千代ビル別館6階 | TEL.06-6946-6301 FAX.06-6946-6303 |
| 九州支部 | 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-9-28 福岡商工会議所ビル7階 | TEL.092-472-4575 FAX.092-472-4603 |

※中国・四国・沖縄地区にお住まいの方は、本部にお問い合わせください。

IPA® 独立行政法人 情報処理推進機構
IT人材育成本部 情報処理技術者試験センター

<http://www.jitec.ipa.go.jp/>



IPA® 独立行政法人 情報処理推進機構
IT人材育成本部 情報処理技術者試験センター

情報処理技術者試験の概要

最新動向を分析、反映した試験

■情報処理技術者試験とは

情報処理技術者試験は、「情報処理の促進に関する法律」に基づき経済産業大臣が情報処理技術者としての「知識・技能」について、ある水準以上であることを認定している国家試験です。試験の内容は、特定の製品やソフトウェアに関する試験ではなく、情報技術に関する幅広い知識を総合的に評価する唯一の国家試験です。

情報処理技術者試験は、昭和44年に開始以来、40年間で1,541万人が応募し、178万人を超える合格者を輩出しています。平成21年度は、61万人の応募者があり、最大規模の国家試験となっています。

■平成21年度 応募者数・合格者数・合格率

| | 応募者数(前年度比) | 合格者数 | 合格率 |
|---------------------|------------------|--------|-------|
| ITパスポート試験 | 118,701 (-) | 59,620 | 59.4% |
| 基本情報技術者試験 | 198,552 (103.6%) | 45,955 | 31.8% |
| 応用情報技術者試験 | 118,435 (112.3%) | 18,457 | 23.6% |
| 高度試験 | 150,337 (106.5%) | 14,908 | 15.4% |
| ITストラテジスト試験 | 8,322 (122.4%) | 754 | 13.7% |
| システムアーキテクト試験 | 13,056 (115.4%) | 1,112 | 13.2% |
| プロジェクトマネージャ試験 | 16,241 (111.2%) | 1,187 | 12.7% |
| ネットワークスペシャリスト試験 | 25,161 (104.0%) | 2,433 | 14.9% |
| データベーススペシャリスト試験 | 18,538 (103.9%) | 1,912 | 16.1% |
| エンベデッドシステムスペシャリスト試験 | 5,875 (98.5%) | 689 | 16.9% |
| 情報セキュリティスペシャリスト試験 | 52,043 (111.7%) | 5,906 | 17.3% |
| ITサービスマネージャ試験 | 5,788 (89.5%) | 460 | 12.5% |
| システム監査技術者試験 | 5,313 (72.3%) | 455 | 13.9% |
| 初級システムアドミニストラータ試験* | 27,823 (-) | 6,896 | 33.4% |
| 応募者総数(春期・秋期合計) | 613,848 (113.7%) | - | - |

*初級システムアドミニストラータ試験は平成21年度春期で終了

■情報処理技術者試験 試験区分とレベル

| | | ベンダ側/ユーザ側 | | | | | | | | |
|------|------------------|------------------|-------------------|--------------------|----------------------|----------------------|--------------------------|------------------------|--------------------|------------------|
| レベル4 | 高度な知識・技能 | ITストラテジスト試験 (ST) | システムアーキテクト試験 (SA) | プロジェクトマネージャ試験 (PM) | ネットワークスペシャリスト試験 (NW) | データベーススペシャリスト試験 (DB) | エンベデッドシステムスペシャリスト試験 (ES) | 情報セキュリティスペシャリスト試験 (SC) | ITサービスマネージャ試験 (SM) | システム監査技術者試験 (AU) |
| レベル3 | 応用的知識・技能 | 応用情報技術者試験 (AP) | | | | | | | | |
| レベル2 | 基本的知識・技能 | 基本情報技術者試験 (FE) | | | | | | | | |
| レベル1 | 職業人に共通に求められる基礎知識 | ITパスポート試験 (IP) | | | | | | | | |

■試験の目的

- ① 情報処理技術者に目標を示し、その技術の向上に資すること。
- ② 情報処理技術者として備えるべき能力についての水準を示すことにより、学校教育、職業教育、企業内教育等における教育の水準の確保に資すること。
- ③ 情報技術を利用する企業、官庁などが情報処理技術者の採用を行う際に役立つよう客観的な評価の尺度を提供し、これを通じて情報処理技術者の社会的地位の確立を図ること。

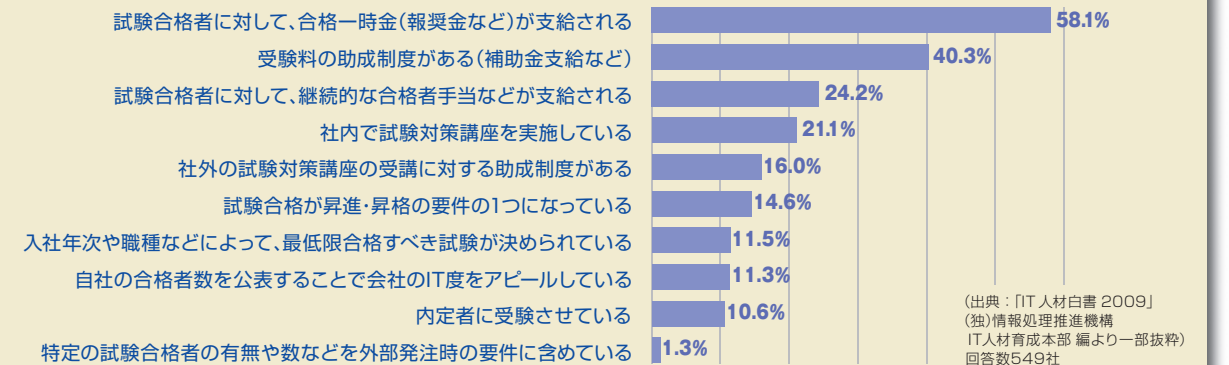
■試験の特徴

- ① **ベンダとユーザ共通の試験体系**
品質の高い適切な情報システムを構築するためには、ユーザ側人材がベンダ側人材と同じレベルの知識・技能を保持するとともに、ベンダ側人材もユーザ業務に関する深い知見を有し、互いに密接なコミュニケーションを図ることが必要です。これらを勘案し、ベンダ側人材とユーザ側人材に求められる知識・技能を一体化した試験として実施しています。
- ② **幅広い領域(ストラテジ、マネジメント、テクノロジー)から出題**
技術が急速に変化し多様化する中で、幅広い観点から試験問題を出題しており、機種やOS、あるいは企業や特定システムにしばられない幅広い知識・技能の修得を評価できます。
- ③ **現場の課題解決力を重視**
急速に進む情報技術に柔軟に対応し、質の高い試験を維持するため、IT現場の第一線で活躍されている専門家や、大学・研究所など高等教育機関に所属されている専門家約400名(民間企業所属85%)からなる試験委員が、試験実施回ごとに問題を作成します。
- ④ **より上位の試験区分を目指すことで、自己のスキルアップが可能**
入門レベルから、高度・専門的なレベルまで、4段階のレベルと12の試験区分を設けていますので、自己のスキルアップの道筋と目標が分かり、学習計画を立てやすくなります。すべての試験区分で、個人成績の照会や解答例の情報提供のほか、年齢・職種・学校別に応募者数・合格者数・合格率などの統計情報も提供しています。

■試験のメリット

- ① **企業からの高い評価**
合格者には一時金・資格手当といった報奨金制度を設けている企業や、就職の際に試験合格を考慮する企業など、多くの企業から高い評価を受けています。
- ② **国家試験や公務員採用試験における優遇制度**
情報処理技術者試験合格者は、国家試験や公務員採用試験において優遇措置が受けられる場合があります。
【例】
 - 中小企業診断士試験……………科目の一部免除
 - 弁理士試験……………科目の一部免除
 - 教員採用選考試験(一部の県市)……………科目の一部免除
 - 警察官採用試験(コンピュータ犯罪捜査官、サイバー犯罪捜査官)……………応募資格
- ③ **学校における優遇制度**
合格者に対して入試優遇制度を実施している大学などが204校、単位認定制度を導入している大学などが58校あります(2009年7月IPA調べ)。学校教育においても高く評価されています。
- ④ **企業の技術力をアピール**
 - 政府(各府省)における情報システム調達に関して、「情報システムに係る政府調達の基本指針」(2007年(平成19年)3月1日各府省情報化総括責任者(CIO)連絡会議決定)で、入札事業者側の人材の要求要件として情報処理技術者試験の合格者の参加を求めることが記載されています。また、地方自治体でも、情報システム開発の競争入札参加申請(例:北海道、岩手県、大分県等)において、申請書の一つに、情報処理技術者試験合格者数の記入を求めています。
 - 経済産業省が実施している「システムインテグレータ登録制度(SI認定)」、「特定システムオペレーション企業等認定制度(SO認定)」において、申請書の中で情報処理技術者試験合格者数の記入を求めています。

■IT企業における人材育成や採用などに広く活用



2 情報処理技術者試験が対象とするIT人材像

確かな技能と知識で情報社会の担い手へ

■ITパスポート試験 Information Technology Passport Examination

職業人として備えておくべき、情報技術に関する共通の基礎知識を習得した者であり、担当する業務に対して情報技術を活用し、次の活動を行う。

- 1 利用する情報機器及びシステムを把握し、活用する。
- 2 担当業務を理解し、その業務における問題の把握及び必要な解決を図る。
- 3 安全に情報の収集や活用を行う。
- 4 上位者の指導の下、業務の分析やシステム化の支援を行う。

■基本情報技術者試験 Fundamental Information Technology Engineer Examination

基本戦略立案又はITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事し、上位者の指導の下に、次のいずれかの役割を果たす。

- 1 需要者(企業経営、社会システム)が直面する課題に対して、情報技術を活用した戦略立案に参加する。
- 2 システムの設計・開発を行い、又は汎用製品の最適組合せ(インテグレーション)によって、信頼性・生産性の高いシステムを構築する。また、その安定的な運用サービスの実現に貢献する。

■応用情報技術者試験 Applied Information Technology Engineer Examination

基本戦略立案又はITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事し、独力で次のいずれかの役割を果たす。

- 1 需要者(企業経営、社会システム)が直面する課題に対して、情報技術を活用した戦略を立案する。
- 2 システムの設計・開発を行い、又は汎用製品の最適組合せ(インテグレーション)によって、信頼性・生産性の高いシステムを構築する。また、その安定的な運用サービスを実現する。

■ITストラテジスト試験 Information Technology Strategist Examination

情報技術を活用した事業革新、業務改革、革新的製品・サービス開発を企画・推進又は支援する業務に従事し、次の役割を主導的に果たすとともに、下位者を指導する。

- 1 業種ごとの事業特性を踏まえて、経営戦略の実現に向けた情報技術を活用した事業戦略を策定し、実施結果を評価する。
- 2 業種ごとの事業特性を踏まえて、事業戦略の実現に向けた情報システム戦略と全体システム化計画を策定し、実施結果を評価する。
- 3 情報システム戦略の実現に向けて、個別システム化構想・計画を策定し、実施結果を評価する。
- 4 情報システム戦略の実現に向けて、事業ごとの前提や制約を考慮して、複数の個別案件からなる改革プログラムの実行を管理する。
- 5 組み込みシステムの開発戦略を策定するとともに、開発・製造・保守などにわたるライフサイクルを統括する。

■システムアーキテクト試験 Systems Architect Examination

| 情報システム | 組み込みシステム |
|---|---|
| <p>情報システム戦略を具体化するための情報システムの構造の設計や、開発に必要な要件の定義、システム方式の設計及び情報システムを開発する業務に従事し、次の役割を主導的に果たすとともに、下位者を指導する。</p> <ol style="list-style-type: none">1 情報システム戦略を具体化するために、全体最適の観点から、対象とする情報システムの構造を設計する。2 全体システム化計画及び個別システム化構想・計画を具体化するために、対象とする情報システムの開発に必要な要件を分析、整理し、取りまとめる。3 対象とする情報システムの要件を実現する最適なシステム方式を設計する。4 要件及び設計されたシステム方式に基づいて、要求された品質を満足するソフトウェアの設計・開発、テスト、運用及び保守についての検討を行い、対象とする情報システムを開発する。なお、ネットワーク、データベースなどの固有技術については、必要に応じて専門家の支援を受ける。5 対象とする情報システム及びその効果を評価する。 | <p>組み込みシステムの要件を調査・分析し、機能仕様を決定し、ハードウェアとソフトウェアの要求仕様を取りまとめる業務に従事し、次の役割を主導的に果たすとともに、下位者を指導する。</p> <ol style="list-style-type: none">1 組み込みシステムの企画・開発計画に基づき、対象とする組み込みシステムの機能要件、技術的要件、環境条件、品質要件を調査・分析し、機能仕様を決定する。2 機能仕様を実現するハードウェアとソフトウェアへの機能分担を検討して、最適なシステムアーキテクトチャを設計し、ハードウェアとソフトウェアの要求仕様を取りまとめる。3 汎用的なモジュールの導入の妥当性や開発されたソフトウェア資産の再利用の可能性について方針を策定する。 |

■プロジェクトマネージャ試験 Project Manager Examination

情報システム又は組み込みシステムのシステム開発プロジェクトの責任者として、当該プロジェクトを計画、実行、管理する業務に従事し、次の役割を主導的に果たすとともに、下位者を指導する。

- 1 必要に応じて個別システム化構想・計画の策定を支援し、策定された個別システム化構想・計画に基づいて、当該プロジェクトの実行計画をプロジェクト計画として立案する。
- 2 必要となる要員や資源を確保し、プロジェクト体制を確立する。
- 3 予算、工程、品質などを管理し、プロジェクトを円滑に運営する。進捗状況を把握し、問題や将来見込まれる課題を早期に把握・認識し、適切な対策・対応を実施することによって、プロジェクトの目標を達成する。
- 4 プロジェクトの上位者及び関係者に、適宜、プロジェクトの実行計画、進捗状況、課題と対応策などを報告し、支援・協力を得て、プロジェクトを円滑に運営する。
- 5 プロジェクトの工程の区切り及び全体の終了時、又は必要に応じて適宜、プロジェクトの計画と実績を分析・評価し、プロジェクトのその後の運営に反映するとともに、ほかのプロジェクトの参考に資する。

■ネットワークスペシャリスト試験 Network Specialist Examination

ネットワークシステムを企画・要件定義・開発・運用・保守する業務に従事し、次の役割を主導的に果たすとともに、下位者を指導する。

- 1 ネットワーク管理者として、情報システム基盤であるネットワーク資源を管理する。
- 2 ネットワークシステムに対する要求を分析し、効率性・信頼性・安全性を考慮した企画・要件定義・開発・運用・保守を行う。
- 3 情報システムの企画・要件定義・開発・運用・保守において、ネットワーク関連の技術支援を行う。

■データベーススペシャリスト試験 Database Specialist Examination

データ資源及びデータベースを企画・要件定義・開発・運用・保守する業務に従事し、次の役割を主導的に果たすとともに、下位者を指導する。

- 1 データ管理者として、情報システム全体のデータ資源を管理する。
- 2 データベースシステムに対する要求を分析し、効率性・信頼性・安全性を考慮した企画・要件定義・開発・運用・保守を行う。
- 3 個別システム開発の企画・要件定義・開発・運用・保守において、データベース関連の技術支援を行う。

■エンベデッドシステムスペシャリスト試験 Embedded Systems Specialist Examination

組み込みシステムに関するハードウェアとソフトウェアの要求仕様に基づき、組み込みシステムの開発工程において、開発・実装・テストを実施する業務に従事し、次の役割を主導的に果たすとともに、下位者を指導する。

- 1 組み込みシステムを対象として、機能仕様とリアルタイム性を最適に実現するハードウェアとソフトウェアのトレードオフに基づく機能分担を図り、設計書・仕様書の作成を行う。
- 2 組み込みシステム開発における各工程の作業を主導的に実施する。
- 3 特定の技術・製品分野についての高度で専門的な知識・開発経験を基に、開発する当該分野の専門家から技術上の知識を獲得して、開発の各工程に反映させる。
- 4 開発を遂行する上での開発環境を整備し改善する。

■情報セキュリティスペシャリスト試験 Information Security Specialist Examination

セキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守を推進又は支援する業務、若しくはセキュアな情報システム基盤を整備する業務に従事し、次の役割を主導的に果たすとともに、下位者を指導する。

- 1 情報システムの脅威・脆弱性を分析、評価し、これらを適切に回避、防止するセキュリティ機能の企画・要件定義・開発を推進又は支援する。
- 2 情報システム又はセキュリティ機能の開発プロジェクトにおいて、情報システムへの脅威を分析し、プロジェクト管理を適切に支援する。
- 3 セキュリティ侵犯への対処やセキュリティパッチの適用作業など情報システム運用プロセスにおけるセキュリティ管理作業を技術的な側面から支援する。
- 4 情報セキュリティポリシーの作成、利用者教育などに関して、情報セキュリティ管理部門を支援する。

■ITサービスマネージャ試験 Information Technology Service Manager Examination

ITサービスの品質とコスト効率の継続的な向上を目的としてITサービスをマネジメントする業務に従事し、次の役割を主導的に果たすとともに、下位者を指導する。

- 1 運用管理チーム、オペレーションチーム、サービスデスクチームなどのリーダーとして、サービスサポートとサービスデリバリのプロセスを整備・実行し、最適なコストと品質で顧客にITサービスを提供する。
- 2 アプリケーションに関するライフサイクル管理のうち、システムの受入れ、運用などを行う。また、開発環境を含めて安定した情報システム基盤を提供し、効率的なシステムの運用管理を行う。
- 3 ITサービスとマネジメントプロセスの継続的改善を行う。ITサービスの実施状況を顧客に報告するとともに、顧客満足度向上を図る。
- 4 情報セキュリティポリシーの運用と管理、情報セキュリティインシデント管理を行い、ITサービス活動の中で情報セキュリティを効果的に管理する。
- 5 顧客の設備要件に合致したハードウェアの導入、ソフトウェアの導入、カスタマイズ、保守及び修理を実施する。また、データセンタ施設のリソース管理を行う。

■システム監査技術者試験 Systems Auditor Examination

被監査対象から独立した立場で、情報システムや組み込みシステムを監査する業務に従事し、次の役割を主導的に果たすとともに、下位者を指導する。

- 1 情報システムや組み込みシステム及びそれらの企画・開発・運用・保守に関する幅広く深い知識に基づいて、情報システムや組み込みシステムに関するリスクを分析し、必要なコントロールを理解する。
- 2 情報システムや組み込みシステムに関するコントロールを検証又は評価することによって、保証を与え、又は助言を行い、ITガバナンスの向上やコンプライアンスの確保に寄与する。
- 3 ②を実践するための監査計画を立案し、監査を実施する。また、監査結果をトップマネジメント及び関係者に報告し、フォローアップする。

■試験時間及び出題形式

| 試験区分 | 9:30~12:15 (165分) | | 午前 | | 午後 | |
|---------------|----------------------|--------------|----------------------|------------|-----------------------|------------|
| | 出題形式 | 出題数 解答数 | 9:30~12:00 (150分) | 出題数 解答数 | 13:00~15:30 (150分) | 出題数 解答数 |
| ITパスポート試験(IP) | 多肢選択式 (四択一) | 100問 100問 | | | | |
| 基本情報技術者試験(FE) | 多肢選択式 (四択一) | 80問 80問 | 多肢選択式 (四択一) | 80問 80問 | 多肢選択式 | 13問 7問 |
| 応用情報技術者試験(AP) | 多肢選択式 (四択一) | 80問 80問 | | | 記述式 | 12問 6問 |

高度試験

| 試験区分 | 午前Ⅰ | | 午前Ⅱ | | 午後Ⅰ | | 午後Ⅱ | |
|-------------------------|---------------------|------------|----------------------|------------|----------------------|----------|-----------------------|----------|
| | 9:30~10:20 (50分) | 出題形式 | 10:50~11:30 (40分) | 出題形式 | 12:30~14:00 (90分) | 出題形式 | 14:30~16:30 (120分) | 出題形式 |
| ITストラテジスト試験(ST) | 多肢選択式 (四択一) | 25問 25問 | 多肢選択式 (四択一) | 25問 25問 | 記述式 | 4問 2問 | 論述式 | 3問 1問 |
| システムアーキテクト試験(SA) | 多肢選択式 (四択一) | 25問 25問 | 多肢選択式 (四択一) | 25問 25問 | 記述式 | 4問 2問 | 論述式 | 3問 1問 |
| プロジェクトマネージャ試験(PM) | 多肢選択式 (四択一) | 25問 25問 | 多肢選択式 (四択一) | 25問 25問 | 記述式 | 4問 2問 | 論述式 | 3問 1問 |
| ネットワークスペシャリスト試験(NW) | 多肢選択式 (四択一) | 25問 25問 | 多肢選択式 (四択一) | 25問 25問 | 記述式 | 3問 2問 | 記述式 | 2問 1問 |
| データベーススペシャリスト試験(DB) | 共通問題 | 25問 25問 | 多肢選択式 (四択一) | 25問 25問 | 記述式 | 3問 2問 | 記述式 | 2問 1問 |
| エンベデッドシステムスペシャリスト試験(ES) | 共通問題 | 25問 25問 | 多肢選択式 (四択一) | 25問 25問 | 記述式 | 3問 2問 | 記述式 | 2問 1問 |
| 情報セキュリティスペシャリスト試験(SC) | 共通問題 | 25問 25問 | 多肢選択式 (四択一) | 25問 25問 | 記述式 | 4問 2問 | 記述式 | 2問 1問 |
| ITサービスマネージャ試験(SM) | 共通問題 | 25問 25問 | 多肢選択式 (四択一) | 25問 25問 | 記述式 | 4問 2問 | 論述式 | 3問 1問 |
| システム監査技術者試験(AU) | 共通問題 | 25問 25問 | 多肢選択式 (四択一) | 25問 25問 | 記述式 | 4問 2問 | 論述式 | 3問 1問 |

■試験の日程

| 試験日 | 受験願書受付期間 | 実施試験区分 | 合格発表日 |
|------------------------|-----------------|---|-------|
| 春期 4月第3日曜日 (予定) | 1月中旬から 約1か月間 | ITパスポート試験/基本情報技術者試験 | 5月中旬 |
| | | 応用情報技術者試験/プロジェクトマネージャ試験/データベーススペシャリスト試験/エンベデッドシステムスペシャリスト試験/情報セキュリティスペシャリスト試験/システム監査技術者試験 | 6月下旬 |
| 秋期 10月第3日曜日 (予定) | 7月中旬から 約1か月間 | ITパスポート試験/基本情報技術者試験 | 11月中旬 |
| | | 応用情報技術者試験/ITストラテジスト試験/システムアーキテクト試験/ネットワークスペシャリスト試験/情報セキュリティスペシャリスト試験/ITサービスマネージャ試験 | 12月下旬 |

■受験手数料・受験資格・申込方法

◆受験手数料は5,100円(消費税込み、全試験区分共通)です

◆受験資格の制限はありません

◆申込方法には、次の方法があります

◇インターネットで申し込む方法

(1) ホームページ (<http://www.jitec.ipa.go.jp/>) 上で受験申込みができます。

(2) 受験手数料の払込方法には、次の3つの方法があります。

- ① クレジットカード決済
- ② ペイジー (Pay-easy) による払込み
- ③ コンビニ利用による払込み

◇願書を郵送する方法

案内書・願書(冊子)を入手し、郵便局の窓口で受験手数料を払い込んだ後、願書を封筒に入れ、「簡易書留」で郵送する方法です。

◇団体経由申込み

10名以上の個人申込みをまとめた場合は、団体経由申込みが可能です。次の4つの方法があります。

- ① インターネットで申し込む方法
- ② 願書データを郵送で提出する方法
- ③ 願書データを電子申請で提出する方法
- ④ 願書を郵送で提出する方法

■成績照会画面イメージ

(1) 受験者は、自分の成績を照会することができます。

(2) 成績照会には、受験番号とパスワードが必要です。照会できる期間は、次のとおりです。

春期：合格発表日～9月下旬

秋期：合格発表日～翌年3月下旬

平成21年度 春期 ITパスポート試験 成績照会
受験番号 IP■■■■■■■■■■ の方は、合格です
総合得点 740点

| 分野 | 得点 | 得点率 |
|---------|------|-------|
| ストラテジ系 | 270点 | 77.1% |
| マネジメント系 | 200点 | 80.0% |
| テクノロジ系 | 270点 | 67.5% |

満点、合格基準は次のとおりです。

| 総合得点/分野別得点 | 満点 | 基準点 |
|------------|--------|-------|
| 総合得点 | 1,000点 | 60%以上 |
| 分野別得点 | | |
| ストラテジ系 | 350点 | 30%以上 |
| マネジメント系 | 250点 | 30%以上 |
| テクノロジ系 | 400点 | 30%以上 |

・総合得点、分野別得点のすべてが合格基準を満たす場合、合格となります。
・次席された方、受験番号が未記入・誤記入の方、受験票に写真をはってない方、30分以上遅刻された方など、受験したとみなされず、方の得点は表示されません。
・得点分野はホームページにて参照ください。

■効率的な学習に向けて

学習や指導の羅針盤となるよう、試験区分ごとに出题範囲、知識・技能の幅や深さを体系的に整理した「シラバス」ほか、「過去問題」、「配点割合」、「解答例」、「採点講評」をホームページ上に掲載しています。

■試験の一部免除制度(高度試験の午前Ⅰ試験免除制度、基本情報技術者試験の午前試験免除制度)

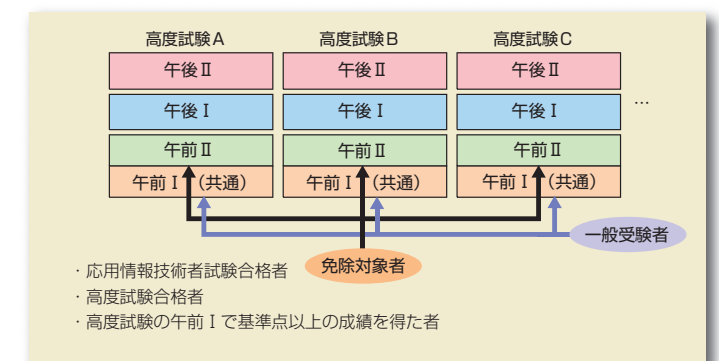
(1) 高度試験の一部(午前Ⅰ試験)免除について

次の条件1~3のいずれかを満たせば、高度試験の午前Ⅰ試験については、「その後2年間」受験を免除されます。

条件1：応用情報技術者試験に合格する。

条件2：いずれかの高度試験に合格する。

条件3：いずれかの高度試験の午前Ⅰ試験で基準点以上の成績を得る。



(2) 基本情報技術者試験の一部(午前試験)免除について

認定を受けた講座を受講し、修了試験に合格するなど一定の基準を満たすことで、基本情報技術者試験の午前試験が免除されます。